

お知らせ

記者発表資料
配布日時

平成30年7月26日
10:30

■同時発表先:

合同庁舎記者クラブ、岡山県政記者クラブ、中国地方建設記者クラブ

第2回

高梁川水系小田川堤防調査委員会を開催します。

—岡山県管理河川である末政川等についても一体的に検討します—

平成30年7月豪雨により発生した、国管理河川である高梁川水系小田川、並びに岡山県管理河川である小田川支川末政川、高馬川及び真谷川（いずれも岡山県倉敷市真備町）の堤防決壊に対し、被災原因の究明とともに、復旧工法等の検討のため、「第2回 高梁川水系小田川堤防調査委員会」を開催します。

なお、今回、堤防が決壊した末政川、高馬川及び真谷川は、小田川の背水の影響を大きく受けること、内水及び洪水氾濫による浸水範囲が小田川の浸水範囲と共通することなど、国管理の小田川と密接に関係していることから、中国地方整備局が主体となって、末政川等を対象に加えた検討を進めます。

第2回 高梁川水系小田川堤防調査委員会

日時：平成30年 7月27日(金)10:00～

場所：岡山市北区鹿田町2-4-36

国土交通省 中国地方整備局 岡山河川事務所 会議室

※委員会の議事は非公開としますが、報道関係者は、冒頭から議題が審議される前段階(頭撮り)まで取材可能です。

※委員会終了後の12:00より報道関係者への議事概要説明を同会議室にて行います。

※堤防調査委員会会場への入場は、15分前より行います。

※駐車スペースはございますが、スペースには限りがありますので、先着順となります。

※議事概要及び検討会資料については、後日、中国地方整備局 Web サイトにて公表致します。

<http://www.cgr.mlit.go.jp/emergency/odagawateibochosa.htm>

問い合わせ先

【問合せ先】

直轄管理河川に関すること

国土交通省 中国地方整備局 河川部 河川調査官 やまうち ひろし 山内 洋志(内線 3513)

☎(082)-221-9231(代表)、(082)-511-6231(夜間直通)

県管理河川に関すること

岡山県 土木部河川課 総括副参事 おおた のぼる 大田 昇(内線 3473)

☎(086)-226-7480(代表)、(086)-226-7479(直通)

【広報担当窓口】

国土交通省 中国地方整備局 広報広聴対策官 いわした やすひさ 岩下 恭久(内線 2117)

企画部 環境調整官 いのうえ かずひさ 井上 和久(内線 3114)

高梁川水系小田川堤防調査委員会 委員名簿

(委員)

五十音順

氏名	所属	分野
佐々木 哲也	国立研究開発法人 土木研究所 地質・地盤研究グループ 土質・振動チーム 上席研究員	土質分野
竹下 祐二	岡山大学大学院環境生命科学研究科 教授	地盤・地質分野
西垣 誠	岡山大学大学院環境生命科学研究科 特任教授	地盤・地質分野
福島 雅紀	国土交通省 国土技術政策総合研究所 河川研究部 河川研究室 室長	河川分野
前野 詩朗	岡山大学大学院環境生命科学研究科 教授	河川分野
森 啓年	山口大学工学部社会建設工学科 准教授	地盤分野
吉田 圭介	岡山大学大学院環境生命科学研究科 准教授	河川分野